

OFFICE BANK サポート技術情報

更新日：2021/12/08

ルーティングテーブルの作成方法

対象

・OFFICE BANK Value Ver.1.00 ～

手順

以下の手順でルーティングテーブルを作成します。

1. OFFICE BANK を起動し、通信の画面を表示します。

(全銀の通信前)

(ANSER-SPC の通信前)

2. Windows 8.1 の場合は、スタート画面の下からアプリ画面を表示して、「Windows システム ツール」の中の「コマンド プロンプト」を選択します。

Windows 10 の場合は、[スタート]ボタンをクリックし「Windows システム ツール」の中の「コマンド プロンプト」を選択します。

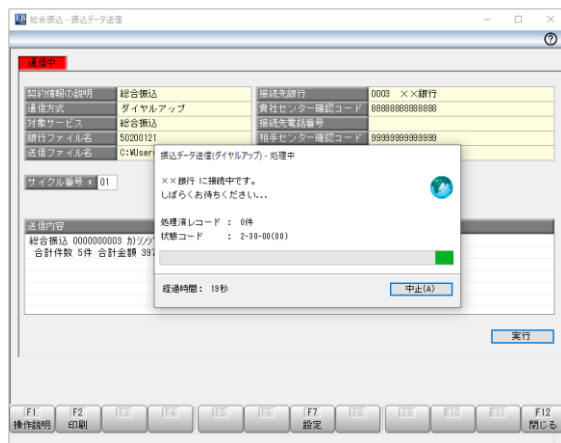
Windows 11 の場合は、[スタート]ボタンをクリックし「すべてのアプリ」を選択します。「Windows ツール」を選択し「コマンド プロンプト」をダブルクリックします。

3. 「コマンド プロンプト」画面が表示されます。画面に「ROUTE PRINT >> A.txt」と入力し、[Enter]キーを押します。

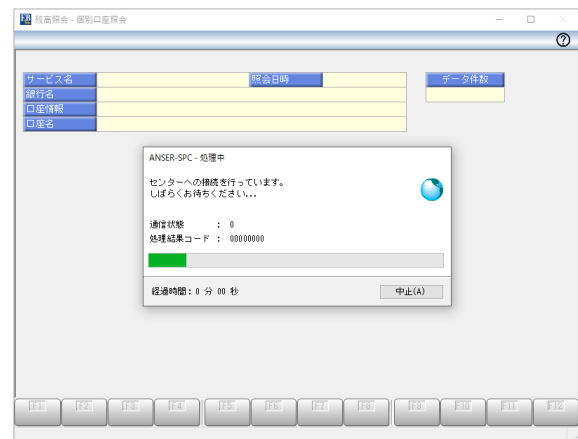


4. OFFICE BANK の通信の画面に戻り、通信を実行します。

(全銀の通信中)



(ANSER-SPC の通信中)



5. OFFICE BANK で通信を行っている間に、「コマンド プロンプト」画面に戻り、「ROUTE PRINT >> B.txt」と入力し、[Enter]キーを押します。



6. 正常終了・エラーに関わらず OFFICE BANK の通信が終了したら、「コマンド プロンプト」画面に戻り、「ROUTE PRINT >> C.txt」と入力し、[Enter]キーを押します。

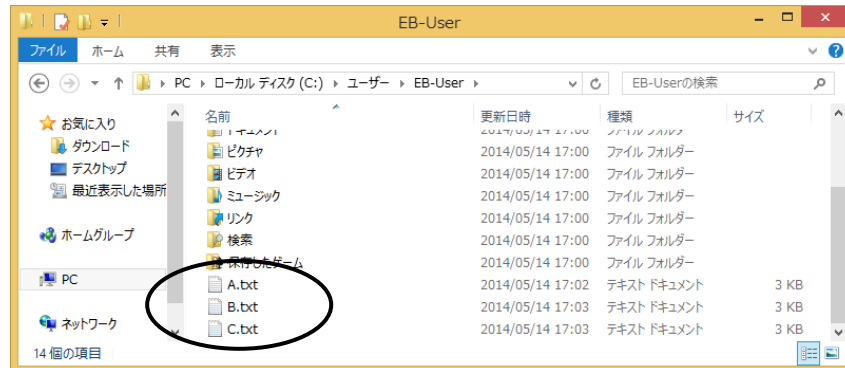


7. Windows 8.1 の場合、スタート画面の下からアプリ画面を表示して、[Windows システム ツール]の中の [エクスプローラー]を選択します。

Windows 10 の場合、[スタート]ボタンをクリックし、[Windows システム ツール]の中の[PC]を選択します。

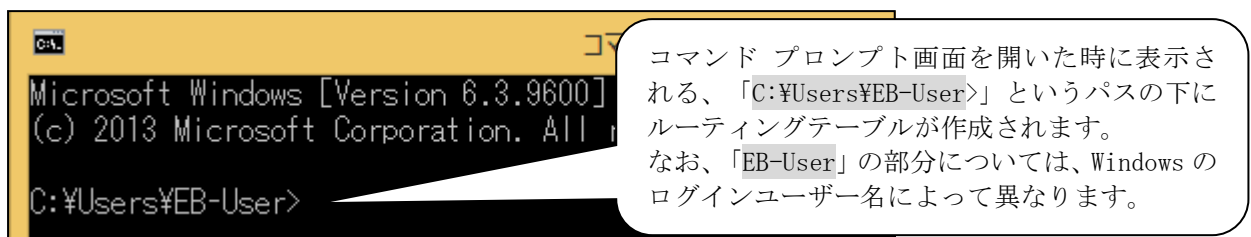
Windows 11 の場合、[スタート]ボタンをクリックして、[すべてのアプリ]を選択し、[Windows ツール]を選択します。[Windows ツール]の中の[PC]を選択します。

「A.txt」 「B.txt」 「C.txt」 が作成されていることを確認します。



※1 波線の「A.txt」「B.txt」「C.txt」というファイルの名称については任意です。

※2 ルーティングテーブルが作成される場所は、環境によって異なります。



以上